

第24回 明治大学小史展

昭和戦前の学園

会期 2008年6月9日(月)～11月末

会場 駿河台キャンパス・大学会館1階ロビー

主幹 総務部企画総務課

大学史資料センターグループ

今回は、昭和戦前期（昭和元年から昭和20年）の本学園を、当センター所蔵の資料から紹介します。

この時期は、1923（大正12）年の関東大震災によって壊滅的被害を受けた学園の復興から始まります。ながく学生、校友、教職員、地域の方々に愛されてきた3代目（旧）記念館の竣工は、まさにその象徴でした。

また、女子部や興亜科の設置、専門部文科の復活、あるいは商業学校の設置など、従来の学部・専門部にとどまらず、総合大学に向けて拡大した時代でもありました。以上のような施設や教育内容の拡充の背景には、総合大学を目指す「大明治建設論」がありました。

しかし、1931（昭和6）年からの15年におよぶ戦争の影響は、着実に学園にも波及しました。創立60周年が、国家的行事に合わせる形で1年早まったことも、その思想的な影響かと思われます。

なお、お問い合わせは大学史資料センターグループ（大学会館4階）までお願いします。

2008年6月

企画総務課大学史資料センターグループ

（参考として、2006年度開催「明大生と学徒兵」展のパンフレットも準備しました）

展示資料リスト

展示資料の解説です。敬称は省略しています。

I 震災からの復興

1 3代目（旧）記念館

関東大震災により壊滅的な被害を受けた本学校舎復興のシンボルが3代目（旧）記念館でした。記念館はながく学生、校友、教職員、地域の方々にとって大学のシンボルとなりました。

2 記念館完成後の明治大学正面觀（1927・昭和2年）

『明治大学学報』129号に掲載された記念館の予想図です。

3 復興記事（1927・昭和2年）

『駿台新報』166号に掲載された記念館工事に関する記事です。記念館を設計した大森技師は、その様式を「和洋折衷のグレコローマン奈良平安式」と表現しています。

4 復興記念絵葉書（1928・昭和3年）

記念館竣工と明治大学復興を記念して製作された絵葉書です。

II 教育組織の拡充

5 女子部開校式順序（1929・昭和4年）

法的、あるいは風潮としても、当時の日本は「男尊女卑」の社会でした。明治大学は女性への実学教育を目指し、卒業生の学部入学資格を認めた女子部を設置し、女性高等教育の先駆けとなりました。

6 女子部卒業生の学部入学資格に関する學則

明治大学女子部出身の久米愛、中田正子、三淵嘉子の3名は、1938（昭和13）年、司法試験に合格、日本初の女性弁護士となりました。

7 明治大学商業学校卒業アルバム（1942・昭和17年）

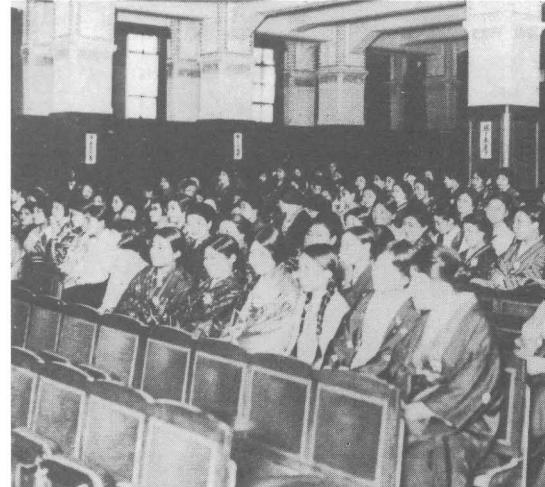
1930（昭和5）年に開校した明治大学商業学校は、その設置理由にあるように「商業ニ從事スル者ニ須要ナル教育ヲ施ス」ことを目的とした夜間学校です。高等小学校卒業生が入学し、働きながら勉学に励み、卒業生のおよそ半数は専門部へ進学しました。

8 文科復活記事（1932・昭和7年）

『駿台新報』307号に掲載された文科復活記事です。「文科復活は大明治への一歩」という、当時の横田秀雄総長のコメントが掲載されています。

9 講演をおこなう尾佐竹猛

初代文科長に就任したのは尾佐竹猛（おさたけ・たけき）でした。大審院判事まで務めた法曹ですが、膨大な研究業績を遺した学者でもありました。



女子部開校式（1929年）

10 地歴科案内（1938・昭和13年）

現在の史学地理学科の前身にあたる文科地歴科の案内です。表紙にもあるように、中学校の教員を目指す学生も多く学んでいました。

11 和泉キャンパス（1935・昭和10年頃）

写真の画面下方から左へのびるのが甲州街道、下方から右へのびる線路は井の頭線です。キャンパスの周りには農地が広がっています。

12 予科校舎（1942・昭和17年）

和泉キャンパスで授業が始まったのは1934（昭和9）年です。

13 予科記念祭絵葉書（1935・昭和10年）

当時の和泉校舎や図書館などが描かれています。

14 専門部学則（興亜科学則）

1939（昭和14）年に設置された興亜科は経営・貿易・農政・厚生の4科構成でした。これに伴い、現在の大学会館の場所に校舎を新築しています。

III 戦時下のキャンパス

15 報国団団則（1941・昭和16年）

明治大学報国団は、1941（昭和16）年4月に結成されました。その目的には「(前略)現下高度国防国家体制ノ建設ニツキ負荷ノ大任ニ堪フベキ人材ヲ育成スル」（規則より抜粋）とあります。

16 報国団役員名簿（1941・昭和16年頃）

明治大学報国団は、本校団・女子部団・予科団・明治中学校団・明治大学商業学校団から構成されていました。

17 創立60周年記念絵葉書（1940・昭和15年）

1940年11月、明治大学では創立60周年の記念式典やイベントが開催されました。実際の60周年は翌年でしたが、紀元2600年という国家的行事に合わせ開催されました。



文科講師陣（1932年）



創立60周年記念式典（記念館講堂）

「昭和戦前の学園」略年表

- 1928（昭和3）年 復興記念のシンボルとして3代目（旧）記念館竣工（3月）
 1929（昭和4）年 女子部設置認可（2月）
 1930（昭和5）年 明治大学商業学校設認可（4月）
 1932（昭和7）年 専門部文科設置認可（4月）
 1934（昭和9）年 和泉予科校舎竣工（3月）
 1938（昭和13）年 国家総動員法公布（4月）
 1939（昭和14）年 専門部興亜科設置認可（3月）
 1940（昭和15）年 創立60周年記念式典挙行（11月）
 1941（昭和16）年 アジア・太平洋戦争開戦（12月）
 1944（昭和19）年 女子部の女子専門学校への改組認可（3月）
 東京明治工業専門学校設置認可（4月）
 1945（昭和20）年 敗戦（8月）
 1949（昭和24）年 新制明治大学設置認可（法・商・政経・文・工・農）（2月）

明治大学史資料センターからのお知らせ

☆最新刊行物のご案内

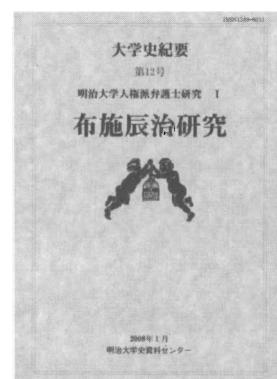
『大学史紀要』第12号

特集「布施辰治研究」800円

『大学史資料センターグループ報告』第29集

特集「大学史資料の様々な利用」500円

大学史資料センター事務室（大学会館4階）
にて販売しております。



布施辰治研究

〔編集・発行〕 大学史資料センターグループ

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

電話 03-3296-4329 FAX. 03-3296-4086

URL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

〔発行日〕 2008年6月9日

〔印 刷〕 二葉印刷有限会社